

第 13 章	社会(公民)	名前:		日 付	No.03
	企業・労働				

[問題 1]

個々の労働者と使用者との関係は必ずしも対等ではない。そこで、弱い立場の労働者が団結して、労働条件について対等な立場で使用者と交渉することができるようにすることを目的として結成する団体は何か。

[解答欄]

[問題 2]

次の文の①～④にあてはまる語句を書け。

資本主義経済では、(①)も商品として売買され、労働者は企業に(①)を売り、賃金を手に入れる。しかし、かつて、労働者は使用者に対して弱く不安定な立場に置かれていたため、対等の立場で賃金などの労働(②)を決めることなどできなかった。そこでワイマール憲法で(③)権が確立され、日本国憲法でも労働(④)権が明記され、対等の立場にたてるようにした。

[解答欄]

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

[問題 3]

労働基準法、労働組合法、労働関係調整法の 3 つの法律をまとめて何というか。

[解答欄]

[問題 4]

次の()にあてはまる法律を書け。

- (①)法：労働者の団結権・団体行動権・不当労働行為の禁止などを規定。
 (②)法：労働者と使用者の争議の予防とその解決を規定。
 (③)法：労働者の労働条件の最低基準を規定。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 5]

次の各問いに答えよ。

- (1) 労働条件の最低基準を定めた法律は何か。
 (2) (1)の法律では、1 日あたりの労働時間を何時間以内としているか。
 (3) 使用者は 6 か月間継続勤務し、8 割以上出勤した労働者に対して 10 労働日の休暇を与えねばならない。この休暇を何というか。

[解答欄]

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

[問題 6]

労働基準法のおもな内容について、①～④にあてはまることばや数字を書け。

- 労働条件の決定では、労働者と(①)は対等 (第 2 条)
- (②)同一賃金の原則 (第 4 条)
- 労働時間は週 40 時間、1 日(③)時間以内 (第 32 条)
- 毎週少なくとも 1 日の休日 (第 35 条)
- (④)未満の児童を使用してはいけない (第 56 条)

[解答欄]

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

[問題 7]

次の各問いに答えよ。

- (1) 労働者は働きすぎにより死亡することもある。これを何というか。
- (2) 多様な働き方や生き方が選択できて、仕事と生活との調和がとれている状態を何というか。カタカナで答えよ。

[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

[問題 8]

次の会話を読んで、下の各問いに答えよ。

太郎：僕のおじさんは、この不況で会社を(①)されたんだ。昔は a 一度会社に入ったら定年まで働けたのに...とぼやいていたよ。

智子：古いわね。年齢や勤続年数に応じて給料や地位が上がる制度だって維持できないのよ。今は、個人の(②)や(③)が重視されているのよ。

- (1) 会話の中の()にあてはまる語句を、次から選んで書け。

[能力 成果 学歴 合理化 リストラ]

- (2) 下線 a の制度を何というか。

[解答欄]

(1)①		②		③		(2)	
------	--	---	--	---	--	-----	--

[問題 9]

次の各問いに答えよ。

- (1) 近年増加している派遣社員や契約社員などのことをまとめて何というか。漢字 6 字で答えよ。
- (2) 労働者が失業した場合に備えて整備されている雇用保険や就職相談、職業訓練などの制度をまとめて何というか。

[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--